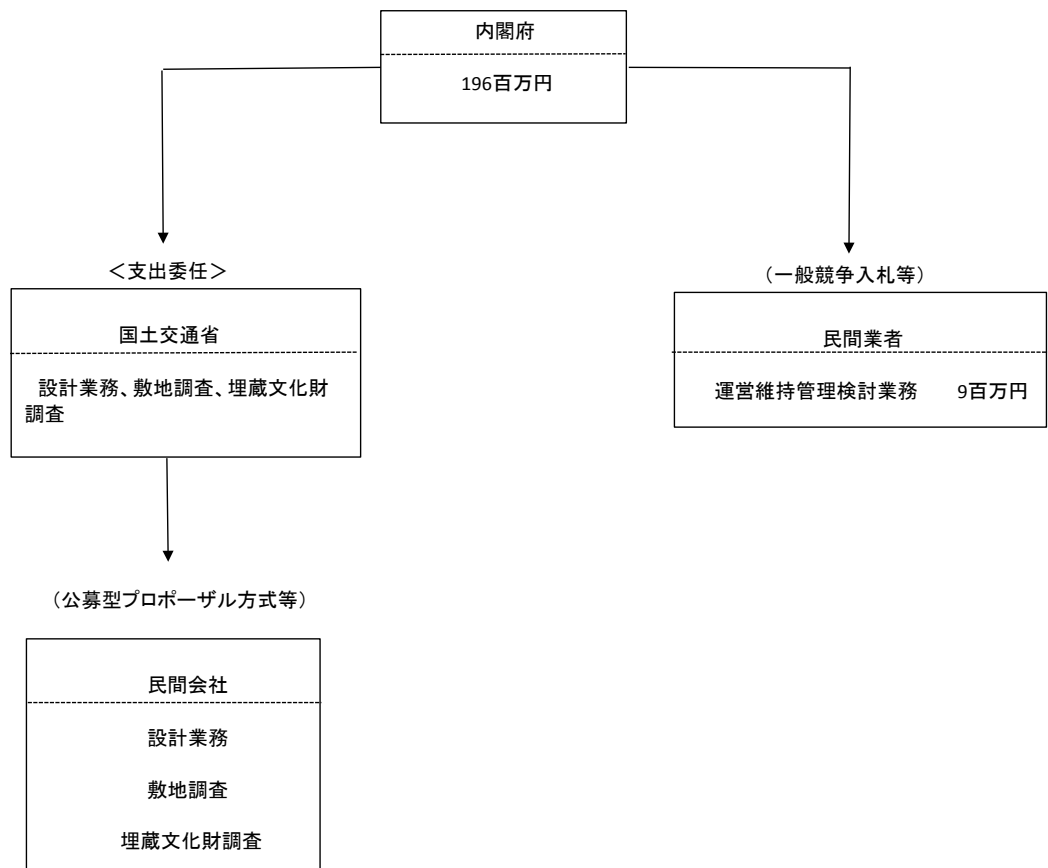


平成29年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )									
事業名	赤坂迎賓館前公園の新施設整備に必要な経費			担当部局庁	内閣府			作成責任者	
事業開始年度	平成29年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房企画調整課			総括補佐 室伏 陽貴	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	未来投資戦略2017				
主要政策・施策	観光立国			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	内閣府迎賓館赤坂離宮(以下「迎賓館」という。)では、平成28年4月の一般公開以降、数多くの見学者が参観しているが、国内外の見学者等が利用する休憩施設や利便施設は、迎賓館及び周辺エリアでは不足している。については、迎賓館前の新宿区若葉東公園において、休憩機能・広報機能・観光案内機能等を備えた新たな施設を整備し、今後、より一層の観光振興の観点からも参観者の利便性・満足度の向上を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	迎賓館と連携した運営により、迎賓館参観者の利便性・満足度の向上を図るとともに、周辺エリアの観光上の発信等を行う施設を整備する。具体的な機能として、休憩機能・広報機能・観光案内等を予定している。今年度は民間事業者の募集(設計に民間事業者の創意工夫を反映)、設計、敷地調査を実施。来年度～平成31年度にかけて建設、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開幕までの平成32年度前半に完成・開業を予定している。								
実施方法	その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	196			
		前年度から繰越し	-	-	-	0			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	0			
		計	0	0	0	196	0		
	執行額	0	0	0					
	執行率(%)	-	-	-					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-					
	平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由				
施設施工庁費		196							
施設施工旅費		0							
その他		0	0						
計		196	0						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度
	-	-	成果実績	-	-	-	-	-	-
	-	-	目標値	-	-	-	-	-	-
	-	-	達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		

定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由		定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績								
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	迎賓館参観者の満足度向上が目的ではあるものの、今年度は、施設の整備等を行うための設計業務や敷地調査を実施する事業となり、施設の運用自体は平成32年度であるので、定量的な目標を示すことが出来ない。		新施設の運営開始に向けて、運営事業者の公募、施設の設計及び工事着工の準備となる敷地調査を実施する。なお、今年度からの事業により、26～28年度の達成状況・実績はなし。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	今年度予定している設計業務や敷地調査について適正に進める。	来年度建設、再来年度完成・事業開始を実現させるため、今年度予定している設計業務や敷地業務が滞りなく、スケジュール通りに進むよう実施する。	実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込		
			活動実績	-	-	-	-	-	-		
			当初見込み	-	-	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
			単位当たりコスト	-	-	-	-	-			
		計算式	-	-	-	-	-				
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策										
	施策										
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度	
				実績値	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
					-	施策の進捗状況(実績)					
					-						
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	-										
アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-		
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
	達成度	%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	施設の整備にあたり、迎賓館周辺に不足している機能等を実際参観者にアンケートを実施した上検討しており、国民や社会のニーズを的確に反映していると言える。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	迎賓館の魅力を外に発信する機能を備えたものを想定しており、迎賓館を所管する内閣府が主体となって整備することが適切である。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	観光は、「地方創生」の切り札、GDP600兆円達成に向けた成長戦略の柱であり、観光の呼び水とすることを目的とした本事業は、必要かつ適切で優先度は高い事業と言える。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		-	-			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	-				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
(点検対象外)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
(省略)						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
(省略)						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	/
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



※金額は予算額

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

